



イマジン ロータリー
RI会長 ジェニファー・ジョーンズ

2022-2023年



Rotary District 2640 JAPAN
ROTARY CLUB OF KAINAN EAST
海南東ロータリークラブ
会長 中村 俊之 幹事 千賀 知起 SAA 田中 淳

第 2125 回例会

2023 年 2 月 6 日 (月)

海南商工会議所 4F 19:00～
お誕生日、結婚記念日のお祝い

1. 開会点鐘
2. 国歌斉唱 「君が代」
3. ロータリーソング 「奉仕の理想」
4. 出席報告
会員総数 44 名 出席者数 24 名
出席義務規定適用免除会員 3 名
出席率 58.54% 前回修正出席率 58.54%

5. 会長スピーチ



会長 中村 俊之 君
皆さんこんばんは、先週は規定により休会となったため2週間ぶりの例会となります。今月お誕生日、記念日を迎える方おめでとうございます。まだまだ寒い日が続く中、本日も例会に出席いただきありがとうございます。

さて2月のロータリー特別月間は「平和構築と紛争予防月間」となっています。人道的奉仕団体であるロータリーは、「平和の推進」はロータリーの使命の礎であると考えられています。ロータリーの6つの重点分野でもあり、ロータリー財団はグローバル補助金などを活用し平和を末長く維持できる環境を築くために、地元や海外の地域社会における紛争転換を促す活動を通じた、平和構築と紛争予防に関連する研修、教育、実践を支援し、ロータリアンが以下のような活動によって平和構築と紛争解決を助長するのを支援します。

1. 紛争を転換し、平和を築くための個人および地域社会の能力の向上。
2. 平和教育、平和のためのリーダーシップ、および紛争予防と解決における、地域社会の人びとへの研修。
3. 弱い立場にある人びとの社会への統合を支援す

る奉仕の実施。

4. 天然資源を管理する最善の方法を特定するための対話および地域関係の改善。
5. 平和構築と紛争解決に関連した仕事で活躍していくことを目指す専門職業人のための 大学院レベルの 奨学金支援。

昨今ではロシア・ウクライナ紛争など平和と紛争予防／紛争解決は、我々にとって確かにハードルの高い分野ではありますが、財団への寄付などを通じ少しでも協力できればと考えています。

報告事項

地区より、ロータリー・リーダーシップ研究会(オンラインRLI)開催の案内が来ています。世界多くの地区が導入するRLI(ロータリー・リーダーシップ研究会)は、ロータリーを語り合い、ロータリアンとしての成長とロータリー観の確立を目的とする大変有意義なプログラムです。また、一定のトピックについてファシリテートと自由なコミュニケーションにより相互理解と合意形成を図るRLIは、元気なクラブづくりにおいても有効な手法です。新型コロナウイルス流行下、オンラインにての開催となりました。

RLIはパートⅠ、パートⅡ、パートⅢに分かれており、全パートを受講すると修了となります。開催形式はZOOMで参加対象は未修了者、クラブ会長、会長エレクト、次期クラブ幹事、クラブ研修リーダーの方は是非参加してくださいとの事です。

開催日

- パートⅠ：2022年3月12日(日)
- パートⅡ：2022年4月2日(日)
- パートⅢ：2022年5月14日(日)

各パートの受講順に制限はありません。修了者にはバッジがいただけるようです。

参加ご希望の方は事務局に詳しい要項があります。

PP会(歴代会長会議)

1月28日(土) 7:00より 美登利にて開催議論した内容につきましては、理事会承認後報告させていただきます。

2 月 は 平 和 構 築 と 紛 争 予 防 月 間

四つのテスト 誰がこれにたしてから

①真実かどうか ③好意と友情を深められるか
②みんなに公平か ④みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002
海南市日方 1294 (海南商工会議所 4F)
TEL:073-483-0801 FAX:073-483-2266

6. 幹事報告

幹事 千賀 知起 君

○例会臨時変更のお知らせ

- 粉河 RC 2月8日(水) → 8日(水)
14:00～ 企業訪問(協和プレス工業)
22日(水) → 22日(水)
身体障害者連盟とのグラウンドゴルフ大会
岩出 RC 2月9日(木) → 9日(木)
19:00～20:00(夜間例会)
3月2日(木) → 2月26日(日)
オープン例会 12:30～13:30
「子ども絵画コンクール表彰式・展示」
粉河ふるさとセンター 視聴覚室
3月30日(木) → 30日(木)
場所変更・分区4 合同例会
(於・高野山)
和歌山西 RC 2月15日(水) → 16日(木)
18:00～ 「魚菜八風」
8日(水) 22日(水)
カフェ例会

○休会のお知らせ

- 岩出 RC 2月23日(木・祝)
3月16日(木)
有田 RC 2月9日(木) 23日(木・祝)

○2月ロータリレート

1\$ = 130円

7. 閉会点鐘

次回例会

休会 2023年1月30(月)
第2125回 2023年2月6(月)
海南商工会議所 4F 19:00～
結婚記念日、お誕生日のお祝い



ニコニコ・BOX

○会員誕生日

- 1日 角谷 太基 君 11日 土井 元司 君
17日 榎原 由希子 君 26日 岡 洋平 君

○奥様、旦那様誕生日

- 1日 榎原 江太郎 様

○結婚記念日

- 3日 岡 洋平 君 14日 谷脇 良樹 君
16日 上野山 雅也 君 23日 奥 喜全 君

○一般ニコニコ

- 中西 秀文 君 今週末、桑添さん、上野山さん、楠部さんの4人で下関、門司にゴルフに行きます、すごく楽しみです。
前田 誠吏 君 新春夫婦例会でビンゴの景品でいただいたギフトカードを嫁が決めたかねて何週にもわたり絵本のように楽しそうに見ています。金額以上に価値のある物になっています。

- 宇恵 久視 君 先週の日曜日に久しぶりに嫁さんと焼き鳥を食べに行きました。彼女はお酒を飲まないののでワインを1人であけてかなり酔っぱらい、そのあとバーにも行きました。
- 山畑 弥生 君 昨日、孫に誘われてフェスタルーチェに行ってきました。孫たちは足が速くてついていくのが大変ですごく疲れましたが、帰りの車で一緒に言ってくれてありがとうと言ってくれてうれしく思って疲れも吹っ飛びました。
- 倉橋 順子 君 来週の日曜日、J-WARKのボーカルの方が紀美野町文化センターに来ます。私も行きます。興味のある方はお申し付けください。
- 新垣 直樹 君 うちのクリニックでちょっとガス臭かったので調べたら、中ではなく家の引き込みからガスが漏れて、大阪ガスが修理してもらいました。ガスは漏れているのが分かるようにわざと臭いを付けているようで、勉強になりました。
- 大江 久夫 君 この前の大雪が降った次の日、大阪ゴルフでコンペがあり、高速道路で普段なら30分で行ける場所ですが、渋滞で4時間高速にいました。
- 桑添 剛 君 昨日、国木原の月例で2位になりお肉をもらいました。その前に泉南カントリーであったコンペでも肉をもらい、連続で肉が当たりました。
- 楠部 均 君 久しぶりのニコニコです。大江さんが高速4時間と言っていた時ですが10分ぐらい早く出たので、すつといく事ができました。3年ぶりに海南市の駅伝に出ました。練習していなかったのだから前に比べて遅くなり悔しかったです。
- 才力 昭浩 君 昨日、山東の方にタケノコ掘る前にする竹藪の整理に行ってきました。朝から3時ころまでやってクタクタになりました。
- 上田 善計 君 家内が肺の方の病気になって3週間くらい入院になり、ステロイドを使わないといけないと言われ副作用など心配でしたが、少し良くなって退院しました。入院中は普段やらない掃除や洗濯など大変でした。
- 前田 克仁 君 2月に入りプロ野球のキャンプが始まり、今が一番楽しい時期なので、800会のあと宇恵さんと宜野座キャンプ行こうかと話した記憶もありますが、清掃活動などがあるので中々いけそうにないけど、どこかで時間が取れば行きたいです。

箕嶋 利一 君 先週の土曜日ですが海南高原でお肉が当たるコンペがありまして、肉が当たりました。

重光 孝義 君 桑添さんと同じコンペに出て5位になってゴルフバック当たりました。買ったばかりでバック要らないので、箕嶋さんに聞いたらいらという事で譲りました。それで先ほどの箕嶋君がらった肉は今うちにあります。

魚谷 幸司 君 大雪の日、新垣先生にクリニックまで送ってもらいました。有難うございました。それと昨日、久しぶりに高校の同級生とゴルフに行ってきました。

榊原 由希子君 2、3週間前にイノシシが取れたのでと知り合いからイノシシをもらって食べました。そして昨日は釣りが好きな知人がきて釣った魚をいただいて、たらふく食べました。ミカンや野菜だけでなくこんなものまで貰えて凄いなと思いました。

阪口 洋一 君 昨年の米山記念奨学生庄さんとはよくラインでやり取りしています。中国の大連出身で和歌山大学の経営学部修士課程を卒業し、東京に本社のあるIT企業に就職しました。当初は大阪支所で働いていたのですが、最近東京本社に転勤になって頑張っているとの事です。それと、去年新春夫婦例会に彼女出席したのですが、その思い出が非常にうれしかったとおっしゃっていました。

上野山 雅也君 自治会の連合自治会長というのを2年間拝命しておりまして、ようやく次の会長もきまり、やっと今年の3月でやめられます。

楠山 友加江君 皆様のおかげでお店の方が2月3日で2周年を迎えることができました。ありがとうございます。

奥 喜全 君 ロータリーの家族旅行をいろいろ考えているときに、姫路が良いかと調べ、近くに離島があることが分かり、先日1人でフェリーに乗って離島めぐりをしてきました。

田中 淳 君 今年やっと厄が明けまして、これからは素晴らしい人生が待ち構えていると期待しています。

千賀 知起 君 先日、かつらぎの銭湯に行こうとしたら、車で後ろからこつんと当てられ事故に会いました。岩出署まで行って現場検証してみたらほんの少ししかへこんでなかったのですが、これくらいならもういいですと凄く良い人になって帰ってきました。

倉橋 利徳 君 先ほど桑添さん、重光さんも参加したゴルフコンペに私も参加しました。スコアはあまり良くなかったのですが77位という事で7万7千円相当のゴルフ無料券が当たりました。今度一緒に回ったメンバーで行きたいと思います。

中村 俊之 君 健康診断で腎臓の数値が悪いと引っ掛かり、海南医療センターで検査をしてもらい、嫁さんと共に栄養指導を受けさせられ、その後節制して結果6キロくらい痩せました。

Rotary NEWS

分断された国民がロータリーの 水プロジェクトでつながる

レバノン北部の学校で、生徒たちが水道の蛇口から水を飲み、洗面台で手を洗うために列を作っています。水の多くを供給する雪化粧の山々からそう遠くはありませんが、かつてこの地の生徒たちにとって、それは稀で贅沢なことでした。



「以前、ここの水には細菌が含まれていたもので飲めませんでした」。国内第二の都市トリポリにある高校の校長、ナビラ・バベッティさんはそう説明します。生徒たちは、家庭で用意するには高価すぎるペットボトルの水に頼らざるを得ませんでした。不衛生な水で病気になり、学校を休まざるを得なくなった生徒もいました。

そこで2022年、トリポリ・コスモポリス・ロータリークラブと、スイスのジュネーブ・インターナショナル・ロータリークラブは、グローバル補助金を利用して新しい浄水システムを学校に設置しました。「今では欠席者も減り、いろいろなことが改善されました」とバベッティさんは話します。昨年、レバノン北部で1993年以来のコレラの発生があっただけに、学校関係者は安堵しました。「今後のあらゆるプロジェクト、特に健康に関するプロジェクトでロータリーと協力していきたい」とバベッティさん。

2013年、レバノンの約20のロータリークラブが結束し、他団体やレバノン政府とのパートナーシッ

プの下、グローバル補助金を利用した数年にわたるプロジェクトを実施し、国内ほぼすべての学校に安全な飲み水を提供してきました。昨年5月には、この活動の対象となった1,000校以上の学校のうち、最後の1校に浄水フィルターとタンクが設置されました。

レバノンでは中東の国の中では比較的水源が豊富ですが、インフラの老朽化や管理の不行き届きから、安全な飲み水の確保が長年の問題となっていました。山から流れてくる水は河川に入り、ゴミや産業廃棄物、農薬などによって汚染されます。処理された水道水も、腐食したパイプや貯水タンクによって、蛇口に届く前に汚染されることがよくあります。さらに、シリア難民の流入により、水資源はさらに圧迫しています。

そのため、ズガルタ・ザヴィエ・ロータリークラブのジャミール・ムアワドさんは、2013-14年度ガバナー就任に向けて持続的な成果をもたらす大規模プロジェクトを模索したとき、すぐに「水」を優先事項とすることを決めました。レバノン北部の複数ロータリークラブが既に貯水タンクと浄水フィルターの設置を行っていたので、ムアワドさんは、政府リーダーや団体代表者と会談し、この活動を全国に拡大する可能性を見いだして委員会を結成しました。「最初はこれを3年で完了したいと言ったのですが、プロジェクトが大きいだけに、そう簡単にはいきませんでした」と、ムアワドさんは振り返ります。「結局8年を要したのですが、最終的に特大の成果をあげることができました」

20口のグローバル補助金を経て、レバノンにいる推定60万人の子ども（その半数はシリア難民）、そして生徒の両親や教師が安全な飲み水を利用できるようになりました。

しかし、このプロジェクトがもたらしたものは、水だけではありません。それは、紛争で引き裂かれた土地に、平和の種を蒔くことです。レバノンは1975年から1990年にかけて宗派と関係する内戦に見舞われ、国土は大きく分断されました。現在では18の宗派が、近隣諸国の干渉を受けながら、分裂した政治体制の中で権力を争っています。

このプロジェクトは、南北両側の学校に水道を設置するために、国内のさまざまな地域のロータリークラブが協力し、派閥間の協力を促進するように意図的に設計されています。

「ロータリーの良さは、宗教や政治に影響されないこと」と話すのは、2件のグローバル補助金を先導したトリポリ・コスモポリス・ロータリークラブの元会長、リム・ダダ・フセイニさんです。「私たちは、人として互いに向き合います。みんなが大きな家族で、この国のためにベストを尽くしたいと思っています。これが私たちを団結させたもので、これからも団結させるものです」

ロータリーは協力して物事を成し遂げる力があるため、国内のほかの団体や住民から信頼を得ていると、ムアワドさんは指摘します。「ロータリーは

良い評判を築いているので、大きな団体に呼びかけても、すぐに支援を得ることができます」

このプロジェクトは、これ以上ないほど良いタイミングで実現しました。コロナ禍に加え、経済崩壊によって国の大部分が貧困に陥り、現地通貨は2年間で90%以上、価値が下落しました。

2019年からは、新たな税制措置により、社会的・経済的権利と汚職撲滅を求めるデモが数万人単位で街頭に繰り出しました。2020年にベイルート港で起きた爆発事故では、200人以上が死亡し、30万人



が家を失い、さらに緊張が高まりました。また最近ではエネルギー危機により、大半の家庭で1日に1~2時間しか電力が供給されなくなりました。この混乱により、何百万人もの人びとの安全な水の利用がさらに困難になっています。一時は悲惨な状況になり、UNICEF（国連児童基金）が2021年に「この国の水道は崩壊寸前だ」と警告したほどです。

政府が解決してくれるという希望を多くの人が失っている、とダダ・フセイニさんは話します。「多くの人が国外に出て行ってしまいました。私たちの心の支えは、自分たちが人びとのために役立っているという実感です」。例えば、水プロジェクトは、生徒だけでなく多くの人にインパクトをもたらします。今では、学校は家族にとって最も信頼できる水源となっており、多くの生徒がボトルに水を入れて持ち帰っているそうです。

トリポリ・コスモポリス・ロータリークラブによるプロジェクトは、レバノン北部と南部のサイダ地区の学校を対象としたもので、このイニシアチブの集大成の一つです。ベイルートで水処理事業を行うWater for Lifeは、腐食した亜鉛メッキ鋼板のタンクの代わりに、3層構造のグラスファイバー強化プラスチック製のタンクを設置しました。

水源からポンプでタンクに送られた水は、定期的に塩素錠剤で処理されます。その後、ろ過機で浮遊物を除去し、カーボンフィルターで塩素を除去した後、紫外線装置で殺菌を行います。そして、停電時にも重力で水が流れるよう、高い位置に設置されたプラスチック製のタンクに水が溜まります。

持続可能性を確保するため、ロータリークラブは、学校と自治体に、年に2~3回フィルターを交換することに同意してもらいました。教育省は全校長に対し、検査のための立ち入りを許可し、フィルターの交換費用を予算に含めるよう通達を出しました。

